



業種：グループ会社の障がい者支援、業務支援
 会社概要：ブックオフグループホールディングス株式会社 特例子会社
 設立：2010年10月
 資本金：900万円
 代表者：代表取締役社長 永谷 佳史
 社員数：122名(2020年6月1日時点)
 所在地：相模原市南区古淵2-14-20
 ホームページ：<http://www.bog-assist.co.jp/>

会社のPR情報

当社はブックオフグループの特例子会社として2010年に設立されました。現在、関東に5つの拠点をもち、122人が勤務しています。本人の特性を活かし、グループで販売する商品に関することから売場での仕事まで、幅広い業務を開発し活躍の場を広げています。

会社からのメッセージ

当社では、業務を通じたグループやお客様への貢献、社会人としての成長・自立を目標にしています。「仲間や社会の役に立っている」「ブックオフグループで働き続けて良かった」という実感が得られるよう、これからも様々なチャレンジをしてまいります。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たったの評価ポイント)

数的側面		
雇用状況	実雇用率	103.28%
	実雇用率 (除外率適用前)	103.28%
	障害者不足数	0人
定着状況	過去3年間に採用した障害者の就職6か月後定着率	100%
	過去3年間に採用した障害者の就職1年後定着率	100%

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

質的側面

<p>キャリア形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障害をもつ従業員が担当する業務のリーダーを務め、進捗確認や生産管理、他のメンバーへの情報伝達やトレーニングなどを担う。 ■ 適正に合わせ特定分野での専門職としても活躍している。 ■ 3年以上前から雇用している障害者の平均年収が4%上昇（※休職者や短時間勤務への変更を含む）。
---------------	---

障害者雇用への取組 (認定に当たっての評価ポイント)

体制づくり

<p>組織面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特例子会社として「障害者雇用促進法の理念のもと、働く意思を持ち働くことのできる障がい者が、自立し安定して働くことのできる環境の創造」「障害者雇用を通じてのブックオフグループへの貢献」をミッションとして掲げている。 ■ 委員会制度を設置。「コンプライアンス」「リスク管理」「生活支援」の各分野において、課題などに対し迅速な対応ができるよう活動をおこなっている。 ■ 特例子会社だけでなく、グループ会社に配属されている障害を持つ従業員に対する支援もおこなっている。 ■ 障害者職業生活相談員 18名在籍 ■ 企業在籍型職場適応援助者 5名在籍 ■ 各事業所に所長を中心とした運営チームを配置。本人特性・作業特性に合わせた支援をおこなっている。
<p>人材面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業在籍型職場適応援助者養成研修を受講した。 ■ 外部の研修参加については、今期はコロナ禍により集合研修への参加は自粛。オンラインセミナー等を活用している。 ■ 「障害者雇用のプロ」になることを目的とし、社内にて定例研修会を実施。障害者雇用の理念・考え方から、対人支援の知識・スキル、事業所運営のチームビルディング・人材育成の手法まで幅広い分野の研修をおこなっている。 ■ 「中堅研修」、「上級研修」、「運営チーム研修会」、「サポート社員研修会」など目的や階層に応じた社内研修を定期的実施。 ■ 各事業所において「生活支援ガイドライン」及び各種資料を使用し、主に生活面やビジネスマナーを中心とした研修を随時実施。障がいのある従業員の社会人としての生活をサポート。

仕事づくり

事業創出	<ul style="list-style-type: none"> ■ 過去2年、経常利益の黒字を達成。
職務選定・創出	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外店舗での販売商材の商品化業務を創出 マレーシアで展開するグループ系列店舗で販売する玩具類の選別、クリーニング、袋詰め、箱詰め作業を新たに創出した。 ■ ブックオフ店舗業務の創出 ブックオフグループで取り扱う商材（本・ソフト・アパレル・ホビーなど）に関する業務をはじめ、ヤフオク出品や棚卸、POP交換など多岐に渡る業務を店舗と連携し、随時創出している。 ■ 支援機関と連携して、実習評価表を活用し、マッチングを図っている。

環境づくり

職務環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 筆談ボード・AIボイス筆談機を導入し、聴覚障害者のコミュニケーションをサポート。 ■ パニック対応、気分を落ち着かせるための救護室、シェルター、パーテーションでの個室空間を導入。 ■ 下肢機能障害、加齢した人の為の非常用階段避難車を導入。災害訓練に合わせ練習も実施。 ■ 静かな空間であるバックヤード、接客も発生する売場など、適正に合わせた業務空間を提供している。 ■ 障害者雇用の為に専用の作業台等設備を新規導入。 ■ 作業工程を細かく分解した分かりやすいマニュアルを作成。 ■ マニュアルには図や写真を多用し、見本や現物の提示などもおこない、視覚的な分かりやすさを追求している。 ■ 店舗の業務においては、健常者スタッフとの作業分担により、業務の効率化を図っている。 ■ 育成の一環として、適正に応じ店舗のスタッフと同じ業務へのチャレンジもおこなっている。 ■ 永年勤続賞、MVP賞、所長賞による表彰制度 ■ 全事業所メンバーが一堂に会する「ビーアシスト大会」を年に1回開催。研修、体験発表、表彰、懇親などをおこなう。 ■ 年に2回、各事業所において懇親会を実施（勤務扱い、費用会社負担）。社会人としてのマナーを学ぶ場としても活用している。 ■ 健康面に関する指導、助言を親会社の労務部門、産業医と連携しておこなっている。 ■ 加齢チェックリストを作成し健康面・作業面の様子を把握し、合理的配慮の提供に活用している。
------	---

環境づくり

<p>募集・採用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就労移行支援、就労継続支援、特別支援学校及びその他教育機関からの実習の受入れを幅広くおこなっている。 直近の職場実習受入れ実績 2019年3月期：151名 2020年3月期：134名 2021年3月期：41名（今期はコロナ禍の影響により減少） ■ 交流のある企業を中心に幅広く、相互見学や交換留学などを実施している。 ■ 企業在籍型職場適応援助者養成研修 講師 ■ 特別支援学級担当者研修会 登壇 ■ 知的・発達が気になる中高生の就職を考える会 講師 ■ 職業リハビリテーション研究・実践発表会 口頭発表 ■ その他セミナー等での講演・特別支援学校での講演などを実施。
<p>働き方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「半休制度」を設け、通院や家庭事情に対応するために利用可能としており、利用実績がある(就業規則の規定あり)。 ■ 医師の診断により、長期間の治療が必要な場合に利用できる休職制度を設けており、利用実績がある（就業規則の規定あり）。 ■ 時差出勤・短時間勤務については合理的配慮の面から実績あり（規定なし）。 ■ 疾病疾患、家庭事情など個々の状態に応じた勤務日数・勤務時間・勤務場所等を柔軟に調整している。 ■ 精神疾患により長期休職を繰り返していた従業員に対するリワークプログラムを立案し実施。安定した勤務状況に回復した。
<p>キャリア形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビーアシストキャリアパスプランの運用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業特性、本人特性に合わせられる為に、3つのコースを設定。本人の意思と運営チームとの相談によりコースを選択している。 ・ 半年毎に評価面談を実施。半年間のチャレンジの結果により昇給。現状維持の場合にも課題について話し合い、次の目標設定をおこなっている。

環境づくり

その他の 雇用管理

- 日報等の活用
 - 1日の業務目標や作業結果が分かる日報を自ら作成し運用しており、高い責任感を持つことができています。
 - 体調管理シートにより、生活リズムや好不調を把握している。
 - その他必要に応じ、個別にカスタマイズした管理・目標シートを作成している。
- 定期面談
 - 入社後3ヶ月、6ヶ月に支援者同席での面談を実施。
 - 既存メンバーについても毎年、支援者同席での面談を実施している。業務上、特に目立った課題がない場合でも生活面の課題や将来の暮らし方についてなど、3者で話し合うべきことは多い為、全員に対して実施している。
- ケース会議
 - 重大な問題などが発生した場合には、支援者や家庭を交えたケース会議をおこない、課題の整理や対応策、担当者などを決め対応している。
- 支援機関・専門家との連携
 - 支援機関担当者との関係を構築し、課題発生時には速やかに連携がとれるようにしている。
 - 障害者専門の共済保険・社労士・臨床心理士など各専門家と連携し、定着における様々な課題について対応している。